

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日本10月景気ウォッチャー調査)

2018/11/8

りそなホールディングス 市場企画部



### 〇概況

- ◆ 10月景気ウォッチャー調査、基調判断は前月から据置き
- ◆ 現状判断DIは災害影響の下押しが強かった前月から上昇
- ◆ 先行き判断DIは低下、通商問題等に関する懸念もみられる

- ✓ 景気の実況に対する判断DIは、49.5となった。企業動向関連、雇用関連のDIは低下したものの、家計動向関連のDIが上昇。災害影響の下押しが強かった前月から2か月ぶりの上昇となった。
- ✓ 2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは、50.6となった。家計動向関連のDIは上昇したものの、企業動向関連、雇用関連のDIが低下したことから、前月を0.7ポイント下回った。
- ✓ 現状判断では、「7～9月は自然災害に加えて、関西国際空港の閉鎖による影響で、来客数が大きく減少したが、10月に入ってようやく元に戻ってきた感がある」（近畿：観光型ホテル）等、災害の影響が薄れてきたコメントがみられた。先行きについては「株価が急落し、貿易戦争の火が消えず情勢が読めなくなっている」（九州：通信会社）等、世界経済情勢や通商問題を懸念するコメントも一部みられる。
- ✓ 10月の景気ウォッチャーの見方は、「緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、コストの上昇、通商問題の動向等に対する懸念もある一方、年末商戦等への期待がみられる」とまとめられた。

### 【景気の実況判断DI(季節調整済)】

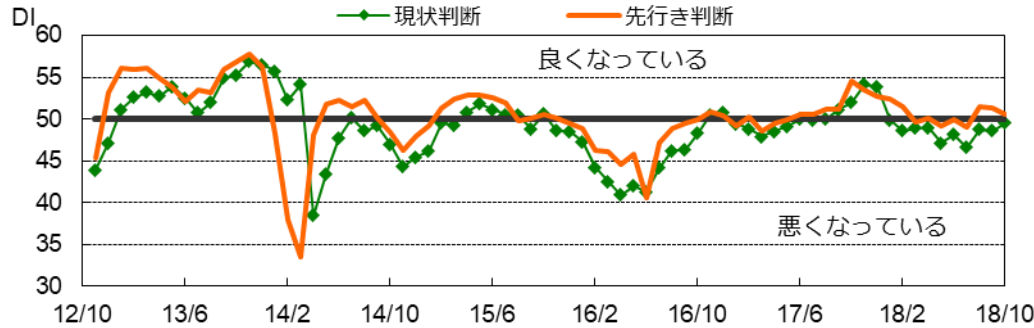
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月差
合計	47.1	48.1	46.6	48.7	48.6	49.5	+0.9
家計動向関連	45.2	46.9	44.8	47.4	47.1	48.9	+1.8
小売関連	43.7	45.9	46.0	46.9	48.0	48.2	+0.2
飲食関連	46.2	42.9	41.1	46.5	45.6	49.5	+3.9
サービス関連	47.4	49.3	42.4	48.3	45.7	49.5	+3.8
住宅関連	47.8	50.3	50.0	49.4	47.1	52.2	+5.1
企業動向関連	50.1	49.2	49.0	50.8	50.5	49.7	▲0.8
製造業	48.7	47.6	48.4	50.1	48.1	49.2	+1.1
非製造業	51.9	50.6	49.4	51.6	52.3	50.3	▲2.0
雇用関連	53.3	53.4	53.1	52.3	54.0	53.2	▲0.8

### 【景気の先行き判断DI(季節調整済)】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月差
合計	49.2	50.0	49.0	51.4	51.3	50.6	▲0.7
家計動向関連	48.4	49.7	48.4	51.2	50.8	50.9	+0.1
小売関連	47.4	49.9	48.1	51.3	50.7	50.4	▲0.3
飲食関連	47.2	45.0	47.1	46.6	49.0	50.7	+1.7
サービス関連	50.3	50.0	49.1	52.2	51.2	51.8	+0.6
住宅関連	49.7	51.7	49.1	51.8	51.8	51.7	▲0.1
企業動向関連	49.5	50.1	49.1	51.4	52.1	49.1	▲3.0
製造業	49.0	50.1	49.1	51.6	51.7	49.4	▲2.3
非製造業	49.7	50.2	49.1	51.2	52.5	48.8	▲3.7
雇用関連	54.7	51.8	52.6	52.7	52.5	51.8	▲0.7

【出所】内閣府、IN情報センター

### 【景気ウォッチャー調査の推移】



出所：IN情報センター

#### ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。